

第 4 回 知 多 市 教 育 委 員 会 定 例 会 会 議 録

令 和 7 年 4 月 1 1 日

知 多 市 教 育 委 員 会

第 4 回 知 多 市 教 育 委 員 会 定 例 会 会 議 録

招 集 年 月 日	令和 7 年 4 月 1 1 日	
招 集 場 所	知多市役所書庫棟会議室 1	
開 会	午後 1 時 3 0 分	
閉 会	午後 3 時 0 5 分	
出 席 者	教育長	永 井 清 司
	委員	久 野 美奈子
		加 古 三津代
		栗 本 弘 太
		竹 内 直 哉
出席した職員	教育部長	杉 江 大 典
	学校教育課長	林 絵 美
	生涯学習スポーツ課長	濱 野 和 江
	指導主事	後 藤 浩 子
		佐 方 貴 文
	事務局学校教育課	高 島 千 晴
		竹 内 久 恵
		山 本 将 希
傍 聴 者	なし	
議 題	(1) 議案第 9 号 令和 7 年度知多市立小中学校教務主任等の任命について（協議）	
	(2) 議案第 1 0 号 令和 7 年度知多市優良児童等表彰の被表彰者について（協議）	
	(3) 議案第 1 1 号 令和 7 年度知多教科用図書採択地区協議会委員の指名について（協議）	
そ の 他	(1) 令和 7 年 3 月市議会定例会の代表質問の概要について（報告）	
	(2) 令和 7 年度学校医等名簿について（報告）	
	(3) 令和 7 年度学校評議員の委嘱について（報告）	
	(4) 令和 7 年度学校運営協議会委員の任命について（報告）	
	(5) 知多市地域学校協働活動推進員の委嘱について（報告）	
	(6) 知多市スポーツ推進委員及びスポーツ委員の委嘱について（報告）	
	(7) 知多市子ども読書活動推進計画に関する進捗管理について（報告）	
	(8) 令和 6 年度学校給食残菜率について（報告）	
	(9) 知多市学校教育情報化推進計画について（報告）	
	(10) 令和 7 年 3 月準要保護者等の認定状況について（報告）	

(11) 教育委員会後援事業について（報告）

1 開会

出席者 5 人

第 4 回知多市教育委員会定例会を開会する。

2 教育長職務代理人について

教育長

日程 2 の「教育長職務代理人について」、報告させていただきます。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 13 条第 2 項におきまして、「教育長に事故があるとき、又は教育長が欠けたときは、あらかじめその指名する委員がその職務を行う。」と定められており、教育長に事故がある場合などに、事務に支障をきたすことがないように、あらかじめ委員の中から職務代理人を指名することとしています。

この規定に基づきまして、令和 7 年 4 月 1 日付けで久野美奈子委員を教育長職務代理人に指名いたしましたので、ご報告いたします。

3 前回会議録の承認について

第 3 回定例会会議録は、委員全員の賛成により承認された。

第 3 回署名委員 栗本委員、加古委員

第 4 回定例会会議録署名委員を指名した。

竹内委員、栗本委員

4 教育長報告

別紙教育長報告により説明した。なお、概略は次のとおりである。

(1) 梅が丘幼稚園卒園式

梅が丘幼稚園の卒園式がありました。令和 7 年度から認定こども園になるため、幼稚園として最後の卒園式ということになります。

(2) 梅が丘幼稚園現地確認

認定こども園になると言うことで、厨房の建設や、食材を運び込むスロープ、未満児を受け入れる部屋の改修が行われるにあたり、それらを視察してきました。

(3) 県立半田高等学校附属中学校内覧会

市内の中学校に比べてコンパクトに感じました。「チェンジメーカー」を育てるということで、今後に期待して見ていきたいと思います。

5 議題

(1) 議案第9号 令和7年度知多市立小中学校教務主任等の任命について（協議）

（説明）佐方指導主事

令和7年度知多市立小中学校教務主任等の任命について、ご説明いたします。

この議案は、知多市立学校管理規則第18条第1項、及び第19条の2第3項の規定により、知多市立小中学校の教務主任等を任命するものです。

知多市立学校管理規則第18条第1項の規定により、教務主任8人、校務主任5人、保健主事5人、生徒指導主事1人、進路指導主事3人を、第19条の2第3項の規定により、司書教諭7人を任命するもので、発令日は、令和7年4月1日です。名簿の教務主任から司書教諭まで、氏名の左側に、新任、市内転任、市外新任、市外転任、の記載がある者が、今回任命するものです。

以上で説明を終わります。よろしくお願いいたします。

（質疑・意見）なし

（採決）全員賛成、原案承認

(2) 議案第10号 令和7年度知多市優良児童等表彰の被表彰者について（協議）

（説明）佐方指導主事

令和7年度知多市優良児童等表彰の被表彰者について、ご説明いたします。

この議案は、知多市優良児童等の表彰に関する内規により、児童等の表彰を行うものです。各学校から推薦された児童生徒が、知多市優良児童等の表彰に関する内規第2条に該当するかどうかを協議し、表彰者の決定をお願いいたします。

内規第2条は、表彰は、委員会の所管に属する小学校又は中学校に通学する児童もしくは生徒で、以下、児童等とありますが、次の各号に該当する者に対し、委員会が行います。ただし、特に表彰することが適当と認められる者にあつてはこの限りではありません。

第1号は、学習態度及び学習成績が優秀であり、かつ、特別活動、課外活動等に積極的に参加し、他の児童等の模範となると認められる者。第2号は、心身ともに健やかで、児童等にふさわしい情操を持ち、他の児童等から信望がある者です。

なお、当該校長が最高学年になる児童生徒を推薦しており、ひとりひとりの児童生徒に関する優良児童等推薦調書が提出されています。推薦された全ての児童生徒が、内規第2条第1号、もしくは第2号に該当しております。

以上で説明を終わります。よろしくお願いいたします。

（質疑・意見）なし

（採決）全員賛成、原案承認

(3) 議案第11号 令和7年度知多教科用図書採択地区協議会委員の指名について（協議）

議題の宣告後、この審議は非公開にすることを諮り、委員全員の賛成を得たので、以下の審議は非公開と決した。

教育長が、議案第11号の審議は、非公開とすることを宣告した。

－ 議案第11号 非公開 －

議案第11号の審議にあたり、教育長が、非公開を終了することを宣告した。

6 その他

(1) 令和7年3月市議会定例会の代表質問の概要について（報告）

（説明）杉江教育部長

令和7年3月市議会定例会の代表質問の概要について、ご報告いたします。

1 創政会 石濱隼人議員。

質問は、福祉文教委員会所管の「学校施設整備の取組について」で、市長が答弁しました。

要望所感としては、各中学校体育館への空調整備工事については、近年の猛暑から生徒の健康を守るために着実に推進していただきたいということでした。

次に、2 市民クラブ 藤沢巖議員。

質問は、教育分野の「子どもたちの主体性を大切にした学びの取組について」で、教育長が答弁しました。

要望所感はありませんでした。

次に、3 公明党議員団 小浦智夫議員。

質問は、福祉文教委員会所管の1点目は、「安全で安心な学校給食の取組について」で、市長が答弁しました。2点目は、「特別な支援を必要とする児童生徒への対応について」で、教育長が答弁しました。

要望所感はありませんでした。

次に、4 松風会 服部洋志議員。

質問は、福祉文教委員会所管の、「学校給食における食材費高騰への対応について」で、市長が答弁しました。

要望所感は、今後の物価の動向を踏まえて保護者負担軽減の継続に努めていただきたいとのことでした。

以上で説明を終わります。よろしくお願いいたします。

(質疑・意見) なし

(2) 令和7年度学校医等名簿について（報告）

(説明) 林学校教育課長

令和7年度学校医等名簿について、ご報告いたします。

お手元の資料は、7年4月現在の学校医等の名簿です。◎や○印が各校の主任の校医となっており、昨年度から変更となっている方は網掛け、新任の方は斜体となっています。

以上で説明を終わります。よろしくお願いいたします。

(質疑・意見) なし

(3) 令和7年度学校評議員の委嘱について（報告）

(説明) 林学校教育課長

令和7年度学校評議員の委嘱について、ご報告いたします。

各学校の学校評議員が名簿のとおり決まりましたので、ご報告いたします。

任期は1年で、再任につきましては連続3期を限度とするという定めになっております。

旭南中学校区の旭南小学校・南粕谷小学校・旭東小学校・旭南中学校の4校は学校運営協議会に移行しましたので、学校評議員は廃止となっております。

なお、女性の登用率につきましては、昨年度が33名中13名の39%であったのに対し、今年度も33名中13名の39%となっております。

以上で説明を終わります。よろしくお願いいたします。

(質疑・意見)

加古委員

以前から各学校に1人は女性を委嘱してほしいとお願いしてきて、それが学校の努力もあって確保されているので安心しています。

いろいろな地域の事情もあると思いますが、学校の現場に近い方や、人材は探してみるというらっしゃると思いますので、引き続き学校のために尽くしてくださる方を男女問わず情報を集めていただくなどして、繋がりを持っていただけたらと思います。

(4) 令和7年度学校運営協議会委員の任命について（報告）

（説明）林学校教育課長

令和7年度学校運営協議会委員の任命について、ご報告いたします。

旭南小学校、南粕谷小学校、旭東小学校、旭南中学校の学校運営協議会委員が名簿のとおり決まりましたので、ご報告いたします。

任期は3年で、再任につきましては、連続2期を限度とするという定めになっております。

以上で説明を終わります。よろしくお願いいたします。

（質疑・意見）なし

(5) 知多市地域学校協働活動推進員の委嘱について（報告）

（説明）濱野生涯学習スポーツ課長

知多市地域学校協働活動推進員の委嘱について、ご報告いたします。

地域学校協働活動推進員につきましては、知多市地域学校協働活動推進員設置要綱に基づき、南粕谷小学校区の今井秀明さんを再任いたします。

任期は令和7年4月1日から令和10年3月31日までの3年間です。

昨年度に委嘱した旭南中学校区の菊地美樹さん、旭東小学校区の門井真二郎さん、旭南小学校区の千賀力さんの3名とともに、引き続き、本市の地域学校協働活動の推進に取り組んでいただきます。

以上で説明を終わります。よろしくお願いいたします。

（質疑・意見）なし

(6) 知多市スポーツ推進委員及びスポーツ委員の委嘱について（報告）

（説明）濱野生涯学習スポーツ課長

知多市スポーツ推進委員及びスポーツ委員の委嘱について、ご報告いたします。

令和7年度のスポーツ推進委員25人及び裏面のスポーツ委員86人です。新規の方は欄外にアスタリスクを付けています。

以上で説明を終わります。よろしくお願いいたします。

（質疑・意見）なし

(7) 知多市子ども読書活動推進計画に関する進捗管理について（報告）

（説明）濱野生涯学習スポーツ課長

知多市子ども読書活動推進計画に関する進捗管理について、ご報告いたします。

知多市では、子どもがより主体的に読書活動を行えるよう、令和3年2月に「知多市子ども読書活動推進計画」を策定しました。

今回のアンケート調査は、知多市の小学生から高校生までの子どもたちの読書活動状況・傾向を把握することで、計画策定時から現在までの進捗状況を把握し、今後どのような支援・取り組みが必要なのか、明らかにするために実施しました。

1 アンケート調査の概要 について、「対象者及び調査方法」「期間」「内容」については資料のとおりです。前回調査との大きな変更点は、全てインターネットサイトアンケートで実施したことです。

今回結果と前回結果との比較について、一部抜粋してご報告いたします。

2 アンケート調査集計結果 について、全体を通して読書が「とても好き」「好き」と回答した子どもの割合は前回の結果と同様に50%を超えました。しかしながら、読書が「あまり好きではない」「嫌い」と回答した割合が20%以上でした。

1か月に本を「ほとんど読まない」と回答した割合が前回28%から今回43%になったことから、前回の調査と比較し徐々に読書離れが進んでいると考えられます。

しかし、自分の読書量について「もっと本を読むべきだ」という回答が前回から2%増加していることから、児童生徒自身、読書離れに対する危機感を感じていることもうかがえます。

本を読むようになったきっかけとしては、「家にたくさんの本がある」という回答が最も多く、次いで「学校の読書時間」「小さいときに家で本を読んでもらった」という結果となりました。

家族が家庭で本を「よく読んでいる」と回答した児童生徒の75%以上が読書を「とても好き」「好き」と回答していることに加え、幼い頃に絵本などを「毎日読んでもらった」と回答した児童・生徒の60%以上が、読書を「とても好き」「好き」と回答していることから、家庭での幼い頃からの読書習慣及び環境が読書に親しむきっかけづくりとして重要な意味を持っていることが改めてわかりました。

(2)今後の課題 について、子どもの読書活動を推進するためには、幼少期から本に親しむ環境と機会を設け、自主的な読書習慣を定着させることが重要であるとともに、今後も継続的に学校と図書館の連携を図り、学校図書室を支援していく必要があります。

さらに今後は、スマートフォン等の通信機器の普及が子どもの読書活動にどのような影響を与えていくのか、検討していく必要があります。

次に、資料2「子ども読書活動推進計画に係る取組の進捗状況について」をご覧ください。

取組の進捗状況について「読書に親しむ機会の提供と充実」「読書環境の整備と充実」「子どもの読書活動推進支援の充実」の3つの項目を「家庭、地域における取組」「学校における取組」「中央図書館における取組」の取組別にまとめました。表の一番右の列「令和6年度までの実績と今後の方策」を一番左の列「取組項目」ごとに一部抜粋してご説明いたします。

(1)読書に親しむ機会の提供と充実 について、「ウ 中央図書館における取組」として、表の下段「英文多読の推進」では、令和7年2月から英語のおはなし会を定期開催することで、幼い頃から海外の本への興味を育んでいきます。

(3)子どもの読書活動推進支援の充実 について、「ア 家庭、地域における取組」、表の上段「図書ボランティアの育成・養成」では、地域学校協働活動を導入した旭南中学校地区では中学生が地区内の小学校で図書ボランティアを行いました。今後も活動の継続と拡大を支援していきます。

「イ 学校における取組」について、表の下段「中央図書館との連携体制の充実」では、令和6年度より中央図書館の配送サービスが開始され、活用頻度も高くなりました。

今後も計画終期である令和12年度に向けて、図書館、家庭、地域及び学校が相互に連携し、子ども読書活動の推進に努めていきます。

以上で説明を終わります。よろしくお願いいたします。

(質疑・意見)

加古委員

10年間計画のちょうど真ん中、折り返し地点ということで、前回の結果と比較して分かりやすく、課題も見やすくなっていると思います。

アンケートの母数の確認をしたいのですが、令和元年度は紙アンケート数が少ないので

すが、インターネットアンケートは4年生から6年生が対象、中学校は全員が対象としていました。今回は全てインターネットでの調査にしていますが、小学校では、392件が1,333件に、中学校では189件が1,794件に、高校は半分ぐらいになり、全体では855件であったのが、今回は3,251件になっています。前回のインターネットアンケートは、回答者が多くなかったということでしょうか。

濱野生涯学習スポーツ課長

令和元年度は、インターネットのアンケートではなく紙でアンケートをしています。対して、令和6年度は、1人1台タブレットが配付されたことによって、学校の先生に依頼して、QRコードを読み込んで朝の会や帰りの会などで一斉に行っていたことで、小中学生の母数がとても増えています。

高校生につきましては、知多翔洋高校の方にチラシを持ち込んで依頼したのですが、高校生は校門で携帯電話の電源を切らなくてははいけなかったのも、校内でのアンケートができません。

読書に興味がないということで回答数がとても少なく、体育館へタフスポーツをしに来る生徒などに依頼して、どうにか124件の回答を得られました。

加古委員

では、この令和元年度のインターネットアンケートは、どのように理解すればよいのでしょうか。

濱野生涯学習スポーツ課長

小中学校では、回答するクラスを学年で1クラス又は2クラスほどに限定して行っていましたので、数が極端に少ないです。今回は全てのクラスに協力いただいています。

加古委員

紙アンケートの他にインターネットアンケートで参加した方が少なかった、ということですね。でも、母数の違いはあっても傾向としては読み取れる結果になっているかと思います。

残念なのは、まとめにあるように、読書離れが前回より進んでいる、ということです。

例えば、「あなたが本を読まない理由はなんですか」という複数回答の冒頭に「多い字や漢字が読めない」、「他にやりたいことがある」、といった内容があります。こういった自由記述にあるような内容について、解説や考察があると良いな、と思いました。

漢字を覚えるような学習は、昔とやり方も変わっているのでしょうか。

後藤指導主事

タブレットも使うと思うのですが、昔と同じようにノートを使って学習しているところが多いかと思います。

加古委員

どうしても読書よりも、その時間をゲームに使いたいという時代の流れはあるような気がするのですが、それでもやはり紙の本を読む良さがとても大切だということを伝える機会が増えていくと良いと思います。

久野委員

アンケート結果を見ると家庭環境がとても大きく影響しているように感じられました。

一方で、「図書館」や「教育」といった観点から考えると、どんな家庭に生まれようとも情報にアクセスできる、可能性が開ける可能性がある、というところが大切だと思うので、家庭に対して働きかける、家庭に啓蒙啓発する、というのも方策として挙がっていた気がするのですが、頭打ち感もあるように感じています。

やはり、これから子どもにどう直接働きかけていくかということが、大きな視点としては

とても大事ではないかと感じました。

栗本委員

タブレットがあつて、いろいろな興味を引くものが目に入ったりすると、限られた時間の中でそちらを優先していくので、子どもが本を読む時間が減っていくのは仕方ないと思います。

教育長

紙で調べる、という面白さが今は無いように感じられます。

国語辞典でも漢和辞典でも順番に見ていくと、いろいろな言葉が出てくるので、それに触れることができるのですが、今はダイレクトに答えが出てきてしまうので、紙で探さなくても良くなってきています。そういった「目的ではない言葉に惹かれていく」という面白さがあつたのですが、便利になった反面、今はそれがなくなっているように思いました。

また、幼児期から本に親しませると読書好き、本好きな方が育つ、という話がありますが、幼児期から本に親しむ機会を作る、ということ、小学校では遅いので、保育園などでどのように働きかけていくのか、というところが今後の課題です。

加古委員

教育長がおっしゃったことは、私も気になっています。

今回の調査の中央図書館の取組みの中で「ブックスタート事業の推進」とあつたので、何を行っているのか確認すると「絵本の読み聞かせとブックリストの紹介を行い、家庭での読み聞かせや中央図書館への来館を促進」とありました。他の市町では、生後何か月目かのタイミングで本を何冊か届ける、などの活動があるようですが、知多市では行っていないのでしょうか。

濱野生涯学習スポーツ課長

保健師の方などが動いて、保健センターがそういった取り組みを行っています。

(8) 令和6年度学校給食残菜率について（報告）

（説明）林学校教育課長

令和6年度学校給食残菜率について、ご報告いたします。

6年度の学校給食は、4月9日から3月19日まで190回実施しました。

この一覧表は、学校ごと、月別に、残菜率を記載したもので、横に各学校別、縦に月別で残菜率を表しています。なお、表の上段は「おかず」全体を、下段は「食缶分のみ」の状況です。

また、表の下に各学校の年間平均の状況を、表の右には全体平均の月ごとの状況を、それぞれグラフで表してあります。

右の全体平均のグラフを見ていただきますとお判りいただけると思いますが、例年同様に夏場になりますと残菜が増える状況にあります。

また、下のグラフにありますように、学校によって残菜率に差があります。

今後も、残菜率の状況を各学校へ毎月周知するとともに、給食主任会議や栄養教諭の食育の指導等で残菜が減るよう指導してまいります。

以上で説明を終わります。よろしくお願いいたします。

（質疑・意見）

竹内委員

知多中学校は優秀ですね。息子に聞いたところ、クラス内で「給食を絶対に残さない」という雰囲気作りがあるようです。どうやら担任の先生や学年主任の先生がそういった方向に持っていく動きがあるようで、やはり全体的にそういった雰囲気を作るような食育を行

っていることが、この結果につながっているのだと思います。

林学校教育課長

竹内委員のおっしゃるとおり、栄養教諭が工夫している学校などでは「楽しく給食をいただく」という雰囲気作りがあるようで、それがあかないかが、残菜率に大きく影響をするようです。

竹内委員

八幡小学校へ学校訪問をした際に、給食室の前に「昨日の残菜率」がキログラム数などで目に見える形で分かるようにされていて、とても良い取り組みだと思いました。

(9) 知多市学校教育情報化推進計画について（報告）

（説明）林学校教育課長

知多市学校教育情報化推進計画について、ご報告いたします。

知多市学校教育情報化推進計画は、令和3年3月に策定しておりますが、ICT技術は急激に進化しており、毎年度計画の修正、見直しを行っています。

3月26日に行われた学校教育情報化推進委員会にて計画の改訂を行いましたので、主な改訂内容について説明します。

(4)校務の情報化の推進 において、クラウド環境を活用した校務・教員研修の情報化等を推進し、教員自身が体験することで、1人1台端末とクラウド環境をフルに活用した授業改善を進める旨を追記しました。

また、公立学校情報機器整備事業費補助金基金管理事業にて端末整備に係る補助を受けるため、小中学校情報機器整備事業に係る各種計画（4計画）を策定し、公表する必要があります。

そのため、知多市学校教育情報化推進計画に「小中学校情報機器整備事業に係る各種計画」を別添として編入し改訂します。

こちらでは、端末整備・更新計画、ネットワーク整備計画、校務DX計画、1人1台端末の利活用に係る計画の4計画を新規に記載しています。

以上で説明を終わります。よろしくお願いいたします。

（質疑・意見）なし

(10) 令和7年3月準要保護者等の認定状況について（報告）

（説明）林学校教育課長

令和7年3月準要保護者等の認定状況について、ご報告いたします。

準要保護の認定につきましては、前回から今回までの認定件数は、小学校で2人、中学校で1人となっており、現在の認定者数は、小学校354人、中学校238人、合計592人です。

認定児童生徒の理由別内訳は、「児童扶養手当の支給を受けているもの」の理由で認定が2人、「保護者の職業が不安定で、生活状態が悪いと認められるもの」の理由で認定が1人となっています。

次に、要保護の認定につきましては、前回から今回までに、認定、取消ともにありませんでした。現在の認定者数は、小学校9人、中学校6人、合計15人です。

次に、特別支援教育につきましては、Ⅱ段階では、前回から今回までに決定、取消ともにありませんでした。現在の決定者数は、小学校148人、中学校49人、合計197人です。

次に、Ⅲ段階につきましても、前回から今回までに、決定、取消ともにありませんでした。現在の決定者数は、小学校14人、中学校2人、合計16人です。

就学援助認定者数の前年度との比較表でございます。直近の3月ですが、令和6年度は令和5年度に対して、上段の要保護の認定者数は2人少ない15人、下段の準要保護の認定者数は6人少ない592人です。

以上で説明を終わります。よろしくお願いいたします。

(質疑・意見) なし

(11) 教育委員会後援事業について (報告)

(説明) 林学校教育課長

教育委員会後援事業について、ご報告いたします。

3月中に知多市教育委員会後援に関する取扱要綱第3条に基づき、教育長の決定により項番1の事業名「劇場版『荒野に希望の灯をともし』上映会」から、項番13の事業名「八幡絵画クラブ『どんぐりの会』展」までの13件につきまして、後援を承諾しましたので報告いたします。

(質疑・意見) なし

7 自由討議

(1) 入学式及び卒業式について

久野委員

入学式、卒業式のどちらにも出席させていただきました。毎年思うのですが、歌は本当にどの学校も良く声が出ていて、素晴らしいなと思いながら聞きました。

また、これについてはご検討いただければと思うのですが、小学校の入学式に行くと、やはり1年生の聞く姿勢には限度があると思います。

例えば、校長先生は話し方に抑揚をつけたりして、子どもたちを乗せていくような声かけで聞き入る環境を作っていくのですが、私たちの読む文章は、もちろん気持ちは込めて読むのですが、堅苦しい部分もあるので、もう少しシンプルに、キュッと短くしても良いのではないかと感じました。

加古委員

八幡中学校と新田小学校の卒業式に出席しました。

八幡中学校では、中学校で初めての対面式の卒業式でしたが、温かみがあってとても良かったです。また、女子生徒の答辞が、保護者への感謝の気持ちが伝わる、心が温まる良い内容でした。

新田小学校の卒業式では、送辞や答辞、ピアノや指揮など、代表となるような役割をすべて女子児童が担っていて、女子が活躍しているな、という印象を受けました。

入学式は、旭東小学校と中部中学校の式に出席しました。

旭東小学校の今年の新入生は28人とのことで、一番少ない学年が14人であることに比べるとかなり多くなったと感じます。とはいえ、全体の人数は他校に比べると少ないのですが、式場内ではパンジーの鉢がたくさん配置され、きれいに咲いていました。聞いたところでは児童が1人2鉢ずつ育ててきたそうです。学校ごとに工夫があって温かい雰囲気が作られていました。

中部中学校では、懇談の機会があり、地域の方といろいろな話ができました。ただその反面、どこの学校も当日は忙しいので早く切り上げた方が良いという気持ちもありまして、教育委員としても考えていかなければいけないと感じました。

また、中部中学校ではマスクの着用が多く、学校により対応は様々だと思いました。

先ほど久野委員の話にも挙げた教育委員の挨拶の件についてですが、私も入学式の挨拶

は、もう少し簡潔にしていく方が良いと感じましたので、次回検討したいと思います。

栗本委員

旭南中学校と旭北小学校の卒業式に出席しました。

旭南中学校の合唱は、パート別に並んでいるためかとても素晴らしかったです。

旭北小学校の卒業式は、退場時に先生が先導するかと思いましたが、子どもたちが立ってひとりひとりで退場していきました。確かに「旅立ち」なので、ひとりひとりで行くのは間違いないと思いますが、最後くらい先生が先頭に立って送り出してくれればよいのに、と思いました。

竹内委員

知多中学校と岡田小学校の卒業式に出席しました。

知多中学校では、卒業式の前に子どもたちが書いた「親への手紙」をくれました。「今まで育ててくれてありがとう」といった普段なら絶対言わないような言葉が書き綴ってあり、それを読んだ妻がもうその時点でボロボロ泣いていました。

岡田小学校では、在校生と卒業生が対面していて、親が最後に並ぶような形でした。

在校生の5年生が歌を歌って送り出すのですが、その声が練習ではかなり小さかった。しかし、当日の6年生の生き生きとした歌声に吞まれたためか、5年生もものすごく大きな声で歌うことができました。校長先生も今までで一番だったとおっしゃっていて、非常に良い卒業式だったと思います。

入学式は、旭南小学校と旭南中学校の式に出席しました。

旭南校区の学校は本当に花がいっぱいで、とても綺麗な花がグラウンドや校舎、体育館も飾ってあって、こういう中で毎日通える子どもたちは「勉強しなきゃ」「しっかりやらなきゃ」という気持ちが生まれるような良い環境で育っていると感じました。

入学式では、新入生が誓いの言葉を小学校中学校どちらも述べるのですが、今までは校長先生に向かって誓いの言葉を述べていたところ、今年から在校生や保護者に向けて述べるようになり、新入生の顔が見えて良かったです。

(2) 5月の行事等予定について

林学校教育課長

5月の行事等予定表の事項を説明した。

(3) 知多市制施行55周年記念 大相撲知多場所について

濱野生涯学習スポーツ課長

知多市制施行55周年記念 大相撲知多場所についてのご報告です。

4月9日水曜日に知多市制施行55周年の記念シンボル事業として行われた春巡業大相撲知多場所についてですが、テレビ愛知の発表では、チケットは2,600枚で86%、当日の来場者人数は、力士を含めて2,900人でした。

午前中に横綱も参加して、八幡保育園の園児とのちびっこ相撲が行われるなどして、平日にもかかわらず想定を上回る来場者となり、大変盛況でありました。

多くの皆様にご協力、ご参加いただきありがとうございます。

(3) ちた梅子マラソンについて

濱野生涯学習スポーツ課長

ちた梅子マラソンについて、令和7年度での大会実施が決定し、開催に向けた準備を進めておりますのでお知らせいたします。

大会概要につきまして、主催は、知多市と知多市教育委員会です。

主管は、ちた梅子マラソン実行委員会です。

日程は、令和7年11月16日日曜日、午前9時から正午までです。

場所は、佐布里緑と花のふれあい公園と佐布里池周辺で、コースは別紙のとおりです。

参加者は、2,400名程度を予定しています。

種目は、マラソンの部10キロ・5キロ・3キロと、ジョギングの部2.8キロを予定しています。中学生のマラソン参加は3キロ限定で、小学生はジョギングのみです。

スケジュールにつきましては、3月に協賛募集、8月にランナーエントリー、ボランティア募集、11月に大会開催の予定です。

(4) ジュニアピアノコンサートについて

濱野生涯学習スポーツ課長

ジュニアピアノコンサートは、令和6年度中にピアノの全国大会に出場した小中学生に声をかけ、55周年記念事業として4月27日日曜日に勤労文化会館つつじホールで開催します。

入場は無料となっておりますので、ご都合がございましたら全国レベルの演奏をぜひ聞きに来てください。よろしくお願いします。

8 閉会

第4回知多市教育委員会定例会を閉会する。

次回は、5月9日（金）午後1時30分から第5回定例会を予定する。

知多市教育委員会会議規則（昭和45年教委規則第2号）第14条の規定により、ここに署名する。

令和7年4月11日

（教 育 長） _____

（委 員） _____

（委 員） _____

（教育部長） _____